

緑のセンターだより

NO. 164 平成 24 年 11 月 1 日発行

発行元：（財）札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

タンブル・ウィード

アカザ科 オカヒジキ属

Salsola tragus L.

西部劇などの背景に、岩山やサボテンの散在する中を風に吹かれて転がるボール状の枯れ草に気づかれたかもしれません。砂埃の中を風に任せ右往左往する枯れ草。妙な植物だと、不思議に思っていました。実はもう半世紀も前、筆者がネバダ、アリゾナを縦断旅行した時にも見掛けた物体です。目の当たりにしながらその正体が不明のまま現在に至っていました。植物には違いないと思い、心当たりの書籍を調べましたが、この植物には出会えませんでした。当時、滞在先の在米二世に教わった植物名は‘セイジブラッシ’でした。ですが、色々な文献を調べてもこの名称ではこの不思議な植物を見出すことが出来ません。‘セイジブラッシ’はヨモギの仲間の一つとされているようですので、たぶん特定地域の呼び名か、混同して呼称していたのかもしれません。



このボール状に転がる植物は、ネット検索で「タンブル・ウィード」であることが判明しました。園芸辞典などの検索では見出すことは難しいようです。つまり、日本で見ることのできる園芸植物には該当しないと言うことでしょう。

この不思議な植物はアカザ科オカヒジキ属の植物で、日本では同じオカヒジキ属ではオカヒジキ (*S. komarovii*) ただ一種しか野生しません。同じアカザ科の仲間の中ではマツナ属 (*Suaeda*) やホウキギ属 (*Kochia*) など、若葉や茎、種子などを食用としているものもあり馴染みがあります。

タンブル・ウィードは、ロシアンアザミ (回転草) とも呼ばれ、アフリカとユーラシアに分布し、西部劇の舞台となる北米南西部にはもともと無かった植物です。

乾燥地、塩性に自生することが多く、渡り鳥などが運んだ植物かと思われますが、カリフォルニアやユタ、ネバダなどに広がるモハビ砂漠はこの植物の生育に環境が合致したのでしょう。アメリカ西部の景色として欠かせないアイテムになったようです。株はボール状に生長し果実が成熟すると風によって茎元が折れ、原野を転がりながら種子をまき散らします。アメリカでは外国産の雑草として農務省に報告され、その当時は家畜の餌になるかもしれないとして栽培が試みられたようです。

この植物は、アメリカ西部の荒野を舞台に決闘シーンがある古い映画などで見ることもできるでしょう。

(T. K)

11月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00	
☆豊平公園	811-9370 月曜以外毎日 (月祝日の場合は受付し、翌平日休み)
☆百合が原公園	772-3511 日曜(11月4日まで)
☆平岡樹芸センター	883-2891 土曜(11月3日まで)

◆芝生の越冬前・越冬後の管理

1. 芝生の病気

芝生の越冬時に心配されることは、芝生を枯らす病気の蔓延です。積雪下では数種類の病菌が芝草に感染し、春までに広がってしまい、雪が解けて芝生が現れると、大小の円形で葉が白色に枯れた症状が出てくることがあります。

芝生の病気	症 状
褐色雪腐病	枯れ葉が薄い褐色をしている
紅色雪腐病	枯れ葉に薄い淡紅色をしている
大粒菌核病	枯れ葉にネズミの糞大の黒い粒(菌核)が付着している
小粒菌核病	枯れ葉にゴマ粒状の小粒点(菌核)がたくさん付着している

これらは、雪腐れ病と呼ばれ、芝生のほか秋播き小麦などの重要な病気の一つです。

2. 予防のためには清掃

- (1) 雑草や落ち葉などを溜まったままにしておくと、病虫害の発生原因となり、また、春に芝生の乾きが悪く、萌芽の妨げになります。根雪前に芝生面を掃き掃除をするなどして清潔にしておきましょう。
- (2) 芝草が長く伸びている場合は、通常よりは少し高く、5～6cmくらいに刈り込んでおきます。
- (3) 土壌改良により、排水性や保水性を良くし、有機物を施用したり、生育期間中の肥培管理を十分に行うことも、病気予防の第一歩となります。

3. 薬剤散布

- (1) 散布の時期は、根雪直前の11月下旬～12月上旬が最適です。
- (2) 散布後15日くらい根雪にならない場合は、散布した薬剤が無効になりますので、もう一度散布します。
- (3) 雪腐れ病には、異なる菌による数種類の病気があり、有効な薬剤もそれぞれ異なります。

褐色 雪腐病	紅色 雪腐病	大粒 菌核病	小粒 菌核病	薬 剤 名	希釈倍率 (濃 度)	1 m ² 当り散布量	
						ジョウロ	噴霧器
	○	○	△	トップジン M 水和剤	800～1000 倍液	約 1ℓ	80～130ml
		△	○	グランサ水和剤	500～1000 "	"	
○	△	△	△	有機銅水和剤	500～1000 "	"	
	○	△	○	グラステン粒剤	—	40～60g	

(○効用大、△効用小)

※液剤は、展着剤を加え、芝生が十分ぬれるように散布します。粒剤は、芝生面がわずかに白くなる程度が目安です。

4. 越冬後の管理

雪解け後、特に7～8月の高温時に芝生面に葉腐病(ブラウンパッチ)が発生します。

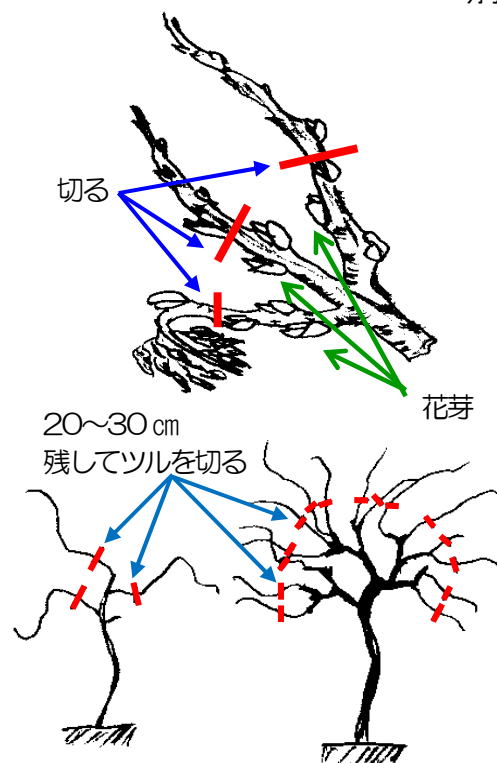
薬 剤 名	散布倍率	使用時期	総使用回数	使 用 方 法
オーソサイド水和剤	300～500 倍液	発病初期	8回	1㎡当り0.5～2ℓ、西洋芝
"	500～800 "	"	"	1㎡当り1～2ℓ、"
ダコニール1000	500～750 "	"	"	1㎡当り1ℓ、バミューダグラス
"	500～750 "	"	"	" ベントグラス
ベンレート水和剤	2,000～3,000 "	"	6回	1㎡当り2ℓ、"

◆フジの剪定

フジの剪定は、11月に行います。この時期には花芽がすでに形成されており（8月頃花芽分化）、良く見るとはっきり区別が出来ます。花芽はふっくらと丸みのある芽であり、葉芽は薄く先が尖った芽をしています。花がらの下数節や短枝、今年伸びたツルの基部数節に形成されていますので、基部より2～3節残して切り取ります。花芽であっても込んでいるところは間引いてしまいます（古株ほど短枝が多い）。

この時期の剪定は、樹形のバランスを整えることも重要な作業なので、ツルを日光が良く当たる様に均等に配置して固定したり、重なっているところは間引くなどして、来春の開花時を想像しながら作業を進めます。

苗木で養成中のものは、必要な本数のツルを残し、今年伸びたツルの基から20～30cm残して切り詰めます。以後これを繰り返しながら希望の樹形を作ります。



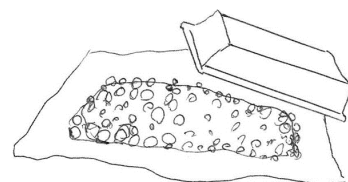
◆プランター用土の再利用

春からずっと園芸を楽しんできて、使用した土の再利用が課題になっていませんか。その再利用方法について説明したいと思います。プランターで野菜や草花を育ててきた土は、粒子がつぶれ、養分も消耗し、排水性や通気性が衰えてきます。生育に合わせた追肥を心掛けているつもりで、つい与え過ぎになってしまいます。野菜を栽培すると、肥料成分が偏り、チッソのやり過ぎが塩類濃度を高め、土の酸性化など質が悪くなってしまいます。こうした古い土を捨てずにひと手間かけて消毒すると再利用することができます。

殺菌消毒の終わった再生用土は、再生用土5割に対し、腐葉土3割、赤玉土2割、植物によりくん炭または火山礫などを少量加え使用します。

1. 日光消毒

植物を栽培をした古土は根や茎葉、ゴミなどを取り除きシートやトタンの上に薄く広げて、太陽光の紫外線でよく乾燥するまで消毒します（季節や天候によりますが、消毒には1～2週間を必要とします）。

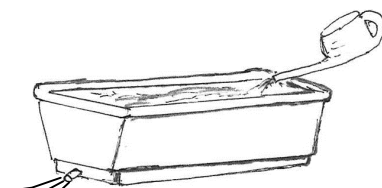


日光消毒：シートなどに土を薄く広げて太陽にあてる

2. 密封消毒

(1) 肥料過多の用土

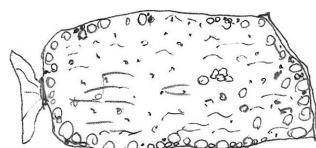
肥料過多の古土は、余分な肥料分を除く必要があります。プランターに大量の水を注ぎ流す方法、雨水に当てて流す方法等があります。その後、根や茎葉、ゴミなどを取り除き、若干水分を含んだ状態で透明ポリ袋に入れ密封します。古土は5～6cmの厚さに広げ1～2週間、袋内の温度が70～80℃の高温にすることで土の中から出る水蒸気と紫外線で殺菌します。



密封消毒：(1)肥料過多の用土は何日かけて水を流し、肥料分を流しだす

(2) 病原菌や害虫の発生した用土

植物に病気症状が出たら早目に栽培を止めて、根を調べてください。根にコブが見つかった場合、茎葉や根は可能な限り取り除き、可燃ごみで処分します。その後、残った土に水分を含ませた状態で(1)と同様に殺菌します（プランターのまま透明ポリ袋に入れ密封し、殺菌する方法もあります）。消毒に要する期間は季節や天候によりますが、目安は7月～9月で約1か月を必要とします。



密封消毒：(1)も(2)の場合も前処理をした古土を袋に入れて太陽の力で再生する

※密封消毒する場合、古土をポリ袋に入れて密封するときに市販のぼかし堆肥などを加えて行くと効果的です。



11月～12月の催しのお知らせ



'12.11 月号

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
展示会				
洋ラン展	11月13日(火)～11月18日(日)		北海道蘭友会	入場無料
シャコバサボテンとシクラメン展	11月20日(火)～11月25日(日)			"
クリスマス展	12月4日(火)～12月24日(月祝)		豊平公園花とハーブの会	"
園芸教室・自然教室				
各種洋ランの冬の管理	11月15日(木)	13:30～	11/11(日)～	無料
シクラメン他冬の鉢花の室内管理	11月23日(金)	13:30～	"	"
クラフト教室				
現代押し花アート体験「花リース(額)」	11月20日(火)	10:00～	11/11(日)～	2,500円
コトネアスターとあけびで作るリース	11月28日(水)	10:00～	"	2,000円
ご自宅のコチョウランの植え替えを個別指導 事前に予約が必要です。				
コチョウラン植え替えサービスディ	11月21日(水)	9:00～	11/11(日)～	材料費実費

百合が原公園 緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
講習会・クラフト講習・実践講座！				
葉ボタン寄せ植え教室	11月18日(日)	10：30～	11/11(日)～	3,000円
		13：00～	〃	〃
展示会				
クリスマスディスプレイ	11月20日(火)～12月2日(日)		直接会場へ	温室入館料130円

その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先
夏季開園最終日	11月10日(土)	駐車料金有：入園料有	滝野すずらん丘陵公園 592-3333
冬囲い体験	11月10日(土) 10:00～	要申込：100円	モエレ沼公園 790-1231
リース講習会	11月17日(土)、22日(木)、 23日(金祝) 各10:00～ (この他5人以上のグループ講習可：日時応相談)	要申込：1,200円	円山公園 621-0453
まつぼっくりアート講座	11月23日(金) 10:00～(クリスマスツリー)、 11:00～(切株サツ)	それぞれ要申込 各200円	川下公園 879-5311
サケの人工受精体験	11月17日(土)・24日(土) 13:00～、14:00～、各回20分程	直接会場へ	さけ科学館 582-7555
サケ皮で靴づくり(全2回)	①12月8日(土)、②22日(土) 各：午前の部9:30～、午後の部13:30～	往復はがきで要申込 2日で300円	
子りす工房～子どもの日 「クリスマスリースを作ろう！」	11月18日(日) 10:00～、13:30～	要申込：500円	西岡公園 582-0050
子りす工房～おとなの日 「しめ縄」	12月13日(木)、14日(金) 10:00～、13:30～	要申込：1,500円	
ホワイトイルミネーション	11月22日(木)～12月25日(日)	会場：大通公園	さっぽろホワイトイルミネーション実行委員会 211-3341
ミュンヘンクリスマス市	11月26日(月)～12月24日(土)		ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 実行委員会 211-2032

